

世界保健機関の車椅子関係資料翻訳事業

一般社団法人 日本車椅子シーティング協会

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-15 浜松町三電舎ビル2階

助成事業の概要

WHO が発行している車椅子・姿勢保持関係資料を、当会の国際協力事業および世界の潮流を知るための資料として翻訳・公開した。今回翻訳したものは以下の通り：

・基礎・中級車椅子サービス教習パッケージ：
教材動画計 35 本
ポスター 8 枚
・管理者および関係者向け車椅子サービス教習パッケージ：

書籍 4 冊（教習員用指導書 2 冊、参考書&ワークブック、補足資料）

パワーポイント 18 ファイル

教材動画計 6 本

事業実施日程は以下の通り：

2022.4 資料翻訳開始

2022.7 下訳完成、姿勢保持専門家、理学療法士、リハビリ工学士との閲読・視聴会を開催。

2022.10 修正した完成稿をWHOの文献資料サイトおよび当会のウェブサイト（動画はYouTubeにアップロードしリンク）にて公開。

事業の成果

今回翻訳した資料は全て本邦初訳であるが、いずれも車椅子やそのサービス教育に関して世界的に普及している重要文献である。これらの翻訳は、当協会の今後の国際協力活動における基礎資料として役立ち、また国内の車椅子や身体障害、社会

福祉に関わる団体・機関にとってこれらのテーマに関する世界的な水準や認識を把握し、また講習などを企画し、政策を検討する上での基礎資料となる。

本事業は、これまでに多くの肯定的なフィードバックをいただいている。リハビリテーション医からは将来の講習資料のモデルにするとよいとの助言をいただき、理学療法士からは職場での研修などに活用したいとのコメントをいただいている。長崎県においては、小児理学療法士を中心に、本事業の翻訳資料を用いた講読会が始まっている。

また国際協力事業においては、海外の大学関係者、車椅子・姿勢保持供与者との対話においての共通の概念的基盤となり、より円滑なコミュニケーションが可能になっている。

成果の広報・公表

書籍に関してはWHOとの契約に従ってWHOのウェブサイトにてプレゼンテーションや各種フォームを含む全資料のPDF版を公開している。
<https://apps.who.int/iris/handle/10665/246227>

また当協会のウェブサイトダウンロードページ <https://j-aws.jp/who/> を設けて動画やポスターを含む全ての資料を公開し、広く利用に供している。この翻訳・出版に関しては当協会の会員企業、関係者に通知し、また身体障害・リハビリテーション・社会福祉・支援機器の関係機関・省庁・国際機関などへ積極的に広報を進めている。

今後の展開

引き続き、2023 年度は以下の翻訳と出版（公開）を進めて行く予定である：

- ・ WHO 車椅子サービス教習員向け教習パッケージ・基礎教習員指導書
- ・ WHO 車椅子サービス教習員向け教習パッケージ・基礎教習ハンドブック
- ・ WHO 車椅子サービス教習員向け教習パッケージ・中級教習員指導書
- ・ WHO 車椅子サービス教習員向け教習パッケージ・中級教習ハンドブック
- ・ WHO 車椅子サービス教習員向け教習パッケージ・管理者 / 関係者向け教習員指導書
- ・ WHO 車椅子サービス教習員向け教習パッケージ・管理者 / 関係者向け教習ハンドブック
- ・ 上記パッケージに含まれるパワーポイント 16 ファイル
- ・ 上記パッケージに含まれる動画 1 ファイル
- ・ 支援技術に関する世界報告書

さらに、2023 年 4 月には既訳「手動車椅子供与の世界ガイドライン」について WHO より新版の刊行が予定されており、こちらも（他により適切な翻訳者がいなければ）当会の、遅くとも 2024 年度事業として取り組む予定である。